

## ① 長与町のこれからの町づくりについて

長与町は平成31年1月1日で町制施行50周年を迎えました。「住みたい、住み続けたい、住んでよかった」と思える長与町の実現に向かって前進する年とされ、町制施行50周年記念事業が実施されています。これからの町づくりについては、人口動態の現状を分析し、目標とすべき将来の方向性と将来人口を展望する人口ビジョンが想定されています。

また、人口減少・少子高齢化社会にあっても、近隣市町と連携して一定の人口を保ち、活力ある社会経済を維持するため、長崎市、長与町、時津町では「連携中枢都市圏」の形成を目指しています。しかし総務省が1月31日公表した2018年の日本人の人口移動報告では、長崎市の転出超過が全国ワースト1位となっています。子育て環境の改善や移住の促進に努めると言われていますが、この長与町でも積極的に取り組む課題だと認識しています。

また、町の高齢化も避けられない現実であり、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境が必要と思います。

そこで、これからのまちづくりについて以下の質問を致します。

- (1) 子育て環境の改善や移住の促進についてどのように取り組んでいるか伺います。
- (2) 町の高齢化対策の現状と課題を伺います。
- (3) 健康づくり促進の一つである、健康ポイント事業の進捗度と課題について伺います。
- (4) 中心市街地の活性化についてどのように取り組んでいるか伺います。
- (5) 50周年を迎えて、これからのまちづくりで新たな取り組みはあるか伺います。